

# 一切認めない大規模開発

市は、4月1日付をもって富士・愛鷹山麓地域におけるゴルフ場、別荘地

などの大規模開発事業は原則として一切認めない方針を打出しました。

富士・愛鷹山麓地域にゴルフ場やレジャー施設、別荘地などの大規模開発が相次いで計画されてきました。このため、昨年3月から1年間、標高200m以上の地域で、おおむね10%以上の開発事業については、土地利用計画の審査を保留していました。

この間、山麓地域の自然環境保全と土地利用のあり方を解明するため専門学者などをもって構成する調査委員会を設置して科学的基礎調査を実施しました。調査委員会は、植生気象、地質など7班に別れて調査を行なってきましたが、さきごろ各班から調査結果の報告がなされました。

調査委員会の結果報告によれば、「自然環境保全のための基礎調査より導きだされた結果によると、現在民間企業によって大規模開発が計画されている地域は、すべて保全すべ

き区域内に入っており、一定規模をこえる開発行為は原則として一切認めない方針ですすむべきである」と提言しています。そこで、市は、自然環境を保護し、市民にとって安全で良好な生活環境を保全するため、調査結果報告の本旨を尊重し、富士・愛鷹山麓地域の大規模開発計画に対して規制を行ないます。

・富士・愛鷹山麓地域におけるゴルフ場、レジャー施設ならびに別荘地などの造成を目的とする

大規模開発事業については原則として一切これを認めないものとする。

- ・規制対象地域は、富士市域のうち富士・愛鷹山麓のおおむね標高200mの地域とする。
- ・規制対象面積は、おおむね10%以上のものとする。

なお、調査委員会の調査結果については、次回（NO.156）でお知らせいたします。



ゴルフ場、別荘地などの大規模開発は一切認めません

## 自分を取り巻く環境にもっと関心を

補陀周子（富士中島）

石油危機が騒がれ、物不足が叫ばれ、作られた物不足とも知らず、主婦はガクガクしながら血眼になって買いだめに走った。

一時、店頭から姿を消したチリ紙トイレットペーパー、洗剤は、今どこの店にもでんと積まれ、主婦たちを買われるのを待っています。値段が昨年よりぐんとアップしたことを

除けば、以前とまったく変わっていません。そうした光景を見るとき、わたしたち消費者はこれでいいのか、と考えさせられてしまいます。

昨年前半に、問題とされた魚の汚染や洗剤の有害論などは、狂乱物価のおかげで、新聞紙上からも私達の頭の中からも消滅してしまっような感じさえします。

消費者は、生活環境をとり巻く問題に敏感でありたいと同時に、ウヤムヤに押し流されることのないよう結果までじっくりと見守らなければなりません。生活必需品の最も値上がりの激しい時期に、消費者モニターとなり、物価に対し、今までにない意識と関心を持つことができて、とてもよい勉強になりました。

※この文章は、昭和48年度の消費者モニターとして1年間活躍していただいた補陀さんに書いていただいた感想文です。